

Title	令和3年度国立大学図書館協会東海北陸地区協会助成事業研修会『「多様性」時代の大学図書館～知ることから始めよう～』実施レポート
Author(s)	北陸先端科学技術大学院大学附属図書館
Citation	
Issue Date	2022-03
Type	Conference Paper
Text version	author
URL	http://hdl.handle.net/10119/17580
Rights	
Description	事業名:令和3年度国立大学図書館協会東海北陸地区協会助成事業研修会,タイトル:「多様性」時代の大学図書館～知ることから始めよう～,主催:国立大学図書館協会東海北陸地区協会 / 北陸地区国立大学連合図書館系専門委員会(担当館:北陸先端科学技術大学院大学附属図書館),開催日時:令和4年2月22日(火)13:30~16:30,開催形式:オンライン開催(Webex)

令和3年度国立大学図書館協会東海北陸地区協会助成事業 研修会
『「多様性」時代の大学図書館 ～知ることから始めよう～』
実施レポート

1. 事業の概要	p.2
2. 講演 1	p.3
3. 講演 2	p.3
4. 講演 3	p.4
5. まとめ	p.5
(参考資料)		
講演1 別紙 / 講演2 配布資料 / 講演3 スライド資料	巻末

北陸先端科学技術大学院大学附属図書館

令和4年3月

1. 事業の概要

事業名 令和3年度国立大学図書館協会東海北陸地区協会助成事業 研修会
タイトル 「多様性」時代の大学図書館 ～知ることから始めよう～
主催 国立大学図書館協会東海北陸地区協会 / 北陸地区国立大学連合図書館系専門委員会
(担当館:北陸先端科学技術大学院大学附属図書館)

開催日時 令和4年2月22日(火)13:30～16:30

開催形式 オンライン開催(Webex)

参加者数 37名(東海北陸地区以外を含む22機関より)

プログラム	13:30	開会挨拶 (北陸先端科学技術大学院大学附属図書館長 水谷 五郎)
	13:35	講演 1「多様性の尊重とわたしたちにできること:LGBTQ+と無意識の 偏見」 (北陸先端科学技術大学院大学グローバルコミュニケーションセンター 講師 元山 琴菜 氏)
	14:20	休憩(5分)
	14:25	講演 2「図書館利用に障害のある人々のニーズと大学図書館サービス」 (専修大学文学部 教授 野口 武悟 氏)
	15:10	休憩(5分)
	15:15	講演 3「大学図書館の留学生サービス」 (長崎純心大学早坂記念図書館長/人文学部 教授 浜口 美由紀 氏)
	16:00	休憩(5分)
	16:05	質疑応答
	16:30	閉会

2. 講演1 「多様性の尊重とわたしたちにできること:LGBTQ+と無意識の偏見」

2-1. 講演の概要

本講演では、LGBTQ+とはなにか、LGBTQ+の現状、偏見や差別の生まれるしくみなどを基本的な部分から解説いただきました。職員個々人の意識をどのように変えていくかや、大学図書館でこれから実践できることについてのご提案もいただきました。また、LGBTQ+に関して学生の参考になる図書やサイトのリストもご提供いただきました。

2-2. アンケート結果概要

Q1. 多様性に関する知識を得ることができましたか？

回 答	回答数
できた	13
ある程度できた	11
どちらともいえない	1
計	25

Q2. 今後の業務に役に立つと思われましたか？

回 答	回答数
役に立つ	14
ある程度役に立つ	10
どちらともいえない	1
計	25

Q3. 意見・感想など

- LGBTQ+に対し興味がわいた
- 今まで何となくしかわかっていなかったことが整理して理解できた
- 図書系の研修では初めてのテーマで勉強になった
- 最新の知見を得ることができてよかった
- 大学図書館にできることをご教示いただき参考になった

3. 講演 2 「図書館利用に障害のある人々のニーズと大学図書館サービス」

3-1. 講演の概要

本講演では、図書館利用に障害のある学生は、身体的な視覚障害者だけではなく、識字障害といった外からはわかりづらい障害を持つ場合があること、そうした学生に対し、法整備や国際的な条約の締結が進み、図書館で行えるサービスが広がっていることをお話しいただきました。また、学生への支援

は図書館単独ですべてを担う必要はなく、大学内の障害学生支援部署との連携や情報共有が大切であること、そして、環境整備の一番は職員の意識と理解の向上であることをご教示いただきました。

3-2. アンケート結果概要

Q1. 多様性に関する知識を得ることができましたか？

回答	回答数
できた	13
ある程度できた	11
どちらともいえない	1
計	25

Q2. 今後の業務に役に立つと思われましたか？

回答	回答数
役に立つ	15
ある程度役に立つ	9
どちらともいえない	1
計	25

Q3. 意見・感想など

- 自分の知識をブラッシュアップすることができた
- 環境整備の一番は職員であるということはすべての図書館サービスに通ずると感じた
- 他部署との連携が不可欠とのことで管理職にも心にとめておいてほしい内容だった
- 潜在的ニーズの把握が課題と感じた
- 電子書籍化促進のながれとつなげられるのではないかと
- 今からでもできることがあるとわかり、考え方も深められた

4. 講演 3 「大学図書館の留学生サービス」

4-1. 講演の概要

外国人留学生が初めて日本の大学図書館に来た時の疑似体験から始まり、日本と海外では大学図書館のシステムや好ましい利用者への接し方が異なることをお話いただきました。事前に参加者にご協力いただいた留学生サービスに関するアンケートの結果報告から、参考となる事例を挙げ、情報を共有いただきました。また、便利な翻訳アプリや、留学生への対応に参考となる情報が掲載されたサイトもご紹介いただきました。

4-2. アンケート結果概要

Q1. 多様性に関する知識を得ることができましたか？

回 答	回答数
できた	14
ある程度できた	9
どちらともいえない	2
計	25

Q2. 今後の業務に役に立つと思えましたか？

回 答	回答数
役に立つ	13
ある程度役に立つ	10
どちらともいえない	2
計	25

Q3. 意見・感想など

- 具体的に利用できる様々なツールや資料の紹介が参考になった
- 機会があれば留学生に声掛けをしたい
- 現在行っている留学生へのサービスに問題意識を感じていたところだったのでとても勉強になった
- 留学生の視点等が参考になった

5. まとめ

5-1. 研修会全体に対する意見・感想など(アンケート結果より)

- 「多様性」の視点をもったサービスについてヒントを得られた
- どの先生の講義もゆっくりめでききやすく、言葉も選んでくださっていてわかりやすかった
- 経験に基づいた実例もあり全体的によく分かる講演だった
- これまでにない切り口の研修会で、すべての大学図書館員が知っておくべき内容ではないかと思う
- 今後の図書館サービスだけでなく個人的な考えも含めてアップデートできた
- 今後も事例共有等を定期的に行えるといいと思った
- 最後に全体をまとめる形をとればさらに良かった
- 自分一人では情報収集も大変なので、この機会にいろいろなことを教えていただきありがたかった
- 受講者・講演者ともオンライン形式だと参加しやすいと思われるので、今後も同形式での開催が検討されてもよいのではないか

5-2. 担当館感想

まず、貴重なご講演をいただいた元山琴菜先生・野口武悟先生・浜口美由紀先生へ心よりお礼申し上げます。これまでの図書館系研修会ではあまり取り上げられていないテーマであったためか、アンケートでも、興味深く参考になったという意見を多数いただきました。また、本研修会は職員の多様性への理解の入口であり、今後のサービス向上へ向けては、多様性へのさらなる理解と実践が必要であると感じました。

オンライン開催により、東海北陸地区にとどまらず全国の国立大学図書館から参加してもらうことができ、知識獲得の機会を広く活かした点は大変良かったと思います。アンケートにも同様のご意見がありましたが、今回のような聴講型の研修においては、参加の容易さや経費を抑えることができる点などから、オンライン形式が適しているのではないかと感じました。

多様性の尊重と わたしたちができること ～LGBTQ+と無意識の偏見～

東海北陸地区国立大学図書館協会研修会

2022年2月22日

元山琴菜

注) セクシュアリティに関する研究は年々進んでおり、新しい表現方法や理解の仕方も変化しています。それほど、性のあり方が多様だということも意味します。年代の古い書籍では触れられていないことが新しい書籍で触れていることもあります。古い図書の中には、同性愛を「病氣」だと書かれているものもあるかもしれないので、新しく見直していくことが大切です。

参考書籍【基礎編⇒応用編】

(本の紹介と感想は、元山個人の感想です。順番に特に意味はありません。)

『LGBTってなんだろう？—自認する性・からだの性・好きになる性・表現する性（改訂新版）』、2019年（薬師実芳 & 笹原千奈未 & 古堂達也 & 小川奈津己 著）

- 基礎中の基礎を学びたい方必見！ワークもついているので、教員を目指す人や、性の多様性に関してクラスで考えたい、友だちと考えたい人におすすめ。とても読みやすいので、一回は読んでおきたい本。

『初めて学ぶLGBT—基礎からトレンドまで』、2019年（石田仁著）

- 基礎的なことから、自分の性のあり方を他の人に伝える方法（カミングアウト）やカミングアウトされたときの受け止め方、学校での取り組み方、法律、「ゲイカルチャー」など、幅広い分野について知れる本。

『カミングアウト・レターズ—子供と親、生徒と教師の往復書簡』、2007年（RYOJI & 砂川秀樹編）

- 親・先生にカミングアウトしたLGBの若者たちと、カミングアウトされた親や教師の想いの手紙のやり取りがまとめられた本。リアルな声が聞ける本。

『先生と親のためのLGBTガイド—もしあなたがカミングアウトされたなら』、2016年（遠藤まめた著）

- 教員や子どもと接する大人向けに書かれた本で、性の多様性とどのように向き合えばよいのだろうかと思っている人に知識を与え、子どもへの対応の仕方を知れる本。

『LGBTの子どもに寄り添うための本—カミングアウトから始まる日常に向き合うQ&A』、2016年（ダニエル・オウエンズ＝リード & クリステン・ルツ著 / 金成希訳）

- LGBTQ+とカミングアウトされて悩んでしまっている親のために書かれた本で、親御さん、教職員、親にカミングアウトを考えている子どもたちにも読んで活用できる本。

【続・基礎編】

『LGBTヒストリーブック—絶対にあきらめなかった人々の100年の闘い』、2019年（ジェローム・ポーレン著／北丸雄二訳）

- LGBTQ+に関する歴史や様々なエピソードが収録されていて、いかにLGBTQ+の人たちが生きてきたのかを理解することができる本。

『同性愛と異性愛』、2010年（風間孝&河口和也著）

- 新書で、同性愛に関する歴史や差別、活動の歴史についても触れられた本。

『同性婚—私たち弁護士夫婦（ふうふ）です』、2015年（南和行著）

- 弁護士であり、ゲイの当事者でもある著者が、自分の性のあり方に気づいた時の話や、同性のパートナーと法律の話について書かれており、新しい家族の在り方にも気づける本。

『13歳から知っておきたいLGBT+』（アシュリー・マーデル著／須川綾子訳）、2017年

- LGBT以外のあらゆるネーミングに関して知りたい人、色々なカテゴリのとらわれたくない人、自分はどんな性のあり方なのか知りたい人が手に取っても、「こたえ」が見つけれられる本。

『見えない性的指向アセクシュアルのすべて—誰にも性的魅力を感じない私たちについて』、2019年（ジュリー・ソンドラ・デッカー著／上田勢子訳）

- 性的な魅力を感じない、それも一つの性のあり方。そんなアセクシュアリティに関して、基礎知識から、当事者の経験、アセクシュアルな人への接し方など、詳しく書いてある本。

『「性別が、ない！」人たちとの付き合い方—実はあなたにも当てはまる20の性別パターンガイド』、2011年（新井祥著）

- 漫画で描かれているので分かりやすい本。他の本と合わせて読むとより理解が深まるそんな本。

【続・基礎編】

『LGBTQ+の児童・生徒・学生への支援—教育現場をセーフ・ゾーンにするために』、2019年（葛西真紀子編著）

- 教育現場で求められている態度や対応の仕方、意識の持ち方に加え、発達障害とLGBTQ+や家族支援に関して、教育に携わる大人たちや親御さんたちにおすすめの本。

『LGBTとハラスメント』、2020年（神谷悠一・松岡宗嗣著）

- 「ハラスメント」というと無理やりとか暴力的な言動と思われがちですが、日常的にあふれる言動の問題性を指摘している本です。「自分はLGBTに偏見はない」と思っている人やそんな組織には呼んで学んでほしい本。

『はじめよう！ SOGIハラのない学校・職場づくり—性の多様性に関するいじめ・ハラスメントをなくすために』、2019年（「なくそう！ SOGIハラ」実行委員会編）

- 「あいつゲイらしいよ」これも「ハラスメント」の時代です。何気ない一言も、もしかしたら誰かを傷ついているかも。「イジリ」ではなく、それハラスメントかも！ 2019年5月に改正された労働施策総合推進法職場でのハラスメント対策として、性指向（Sexual Orientation =SO）と性自認（Gender Identity =GI）に関するハラスメントやアウトティングが、ハラスメントになった。生徒の生きやすさはもちろん、働く先生や職員の中にもSOGIがいることを念頭に、みんなが働きやすい環境をつくるために参考にできる本。一見難しそうだけど、子どもにも読みやすい本。

『職場のLGBT読本—「ありのままの自分」で働ける環境を目指して』、2015年（柳沢正和・村木真紀・後藤純一著）

- LGBTの当事者へのアンケート調査も紹介され、LGBTについて理解を深めたり、企業での取り組みが書かれた本。企業だけでなく、教育現場という職場でより多くの方が働きやすい環境づくりに参考にできる本。

『トランスジェンダーと職場環境ハンドブック—誰もが働きやすい職場づくり』、2018年（東優子&NPO虹色ダイバーシティ&NPO ReBit著）

- 特にトランスジェンダーに関する詳細に書かれた本で、具体的な職場環境づくりのためにどうしたらよいかの知恵をくれる本。

【応用編】

【別紙】JAIST 元山・「多様性の尊重と私たちにできること」
@東海北陸地区国立大学図書協会研修会

『教育とLGBTIをつなぐー学校・大学の現場から考える』、2017年（三成美保編著）

- 。学校や大学の中で直面する問題を顕在化した専門書。

『ゲイ・アイデンティティー抑圧と解放』、2010年（デニス・アルトマン＝岡島克樹・河口和也・風間孝訳）

- 。アメリカでゲイ解放運動が大きく発展した1970年以降、当事者による研究の第一人者とも言われるアルトマンの著書。ゲイスタディーズを研究したい人、知りたい人に是非手に取ってほしい本。

『ゲイ・スタディーズ』、1997年（キース・ヴァンセント、風間孝、河口和也著）

- 。ゲイ・スタディーズの視点から、男性同性愛者の経験や実践を考察した本。ゲイスタディーズや男性学を研究したい人、知りたい人に是非手に取ってほしい本。

『レズビアン・アイデンティティーズ』、2015年（堀江有里著）

- 。「LGBT」と一括されることで、それぞれの差異が見えづらくなってしまふということを前提に、レズビアンのアイデンティティーについて深く追求した本。レズビアンや女性をより研究の視座にたつて深く考察したい人におすすめの本。

『クイア・スタディーズ』、2003年（河口和也著）

- 。ゲイ・レズビアンスタディーズから発展したクイアスタディーズについて分かりやすく書いてある本。LGBTQ+について研究や勉強したい人におすすめの本。

『カムアウトする親子ー同性愛と家族の社会学』、2014年（三部倫子著）

- 。家族へのカムアウトは最も難しいと考える当事者も多いです。そんな当事者へのインタビューと、カムアウトされた家族へのインタビューを社会的に考察した本。家族に関する研究やセクシュアリティに関する研究に興味がある人におすすめの本。

『セクシュアリティの多様性と排除』、2010年（好井裕明編著）

- 。あらゆる視点から、LGBTの置かれる状況や排除や差別の構造を明らかにしている本。この分野で研究をしたい、もしくは専門書を探している人におすすめの本。

5

【別紙】JAIST 元山・「多様性の尊重と私たちにできること」
@東海北陸地区国立大学図書協会研修会

これらはあくまで一部の団体や活動です。それぞれの地域にも当事者を支援する活動をされている方、自治体に働きかけをしている方々や団体も必ずおられます。それぞれの地域でアクセスできる情報も合わせて、ご紹介いただくと、学生にとって有益かと思えます。

参考資料

LGBT法連合会が発表する、「LGBTの困難事例リスト第3版」 (<https://lgbtetc.jp/news/1348/>)

- 。「当事者の声を聞きたい」という声は多くありますが、カムアウトしている当事者の数はそれほど多くなく、また人によってその経験は様々です。さらに、差別的な経験や困難を何度も口にする負担を軽減するため、LGBT法連合会が「困難リスト」を作成されました。長いリストですが、こちらを見れば、どのような困難あるのか

International Lesbian, Gay, Bisexual, Trans and Intersex Association (ILGA) : 英語のみ
(<https://ilga.org/resources>)

- 。世界で性的指向や性自認による法律の違いや差別の現状に関するレポートなどがあります。

公益社団法人MarriageForAllJapanー結婚の自由をすべての人に (<https://www.marriageforall.jp/>)

- 。パートナーシップ制度や同性婚の法制同化に向けて活動している団体です。裁判の状況や日本各地での動きがわかります。

特定非営利活動法人 グッド・エイジング・エールズ (<https://goodagingyells.net/about/>)

- 。石川県金沢市出身の松中権さんが代表を務める団体。北陸初のプライドパレードの火付け役ともなった方で、あらゆる活動をされています。LGBTにはロールモデルがないことで将来を不安に感じる当事者も多いと言われていますが、こういった団体を通していろいろな人に出会うことで、自分の居場所を見つけたり、ロールモデルを見つけられるかもしれません。

6

図書館利用に障害のある人々のニーズと大学図書館サービス

専修大学文学部教授
野口 武悟

1. 「図書館利用の障害」の考え方

- ・「障害」をどう捉えるか

「障害」の個人モデル ＜個々人の状態に注目＞ ex) 福祉サービス 医療・リハビリ	←→	「障害」の社会モデル ＜社会環境との関係性に注目＞ ex) バリアフリー ユニバーサルデザイン
--	----	--

- ・図書館（なかでも公共図書館）では「障害」の社会モデルを採用
→「障害」は利用者個人の側にあるのではなく、図書館の側にある
- ・図書館の「障害者サービス」＝ 図書館利用に障害のある人へのサービス
→誰もが利用できる図書館とするための実践

2. 大学図書館における現状

- ・文部科学省「大学図書館における読書バリアフリーに関するアンケート調査」（2018年5月実施）
→未公表（2022年2月現在、公表の予定なし）
- ・日本学生支援機構「障害のある学生の修学支援に関する実態調査」（毎年度実施）は、図書館に関連した項目があるものの、ごくわずか
ex) 2020年度の結果（4年制大学）から
 - ・テキストデータ化：110校／801校（13.7%）
 - ・拡大読書機設置：96校／801校（12.0%）

3. 進む法整備

- ・「本の飢餓」の解決に向けて、国際的に「借りる権利」と「買う自由」の確立に向けた法整備が進む
- ・「障害者の権利に関する条約」（2006年採択、2014年批准）

- ・「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(障害者差別解消法)(2013年6月成立、2016年4月施行)
 - 合理的配慮：義務
 - 環境整備(事前的改善措置)：努力義務
- ・「盲人、視覚障害者その他の印刷物の判読に障害のある者が発行された著作物を利用する機会を促進するためのマラケシュ条約」(2019年1月発効)
 - 締結国(84か国)が各国の著作権法の権利制限(日本の場合は第37条第1項～第3項)によって複製されたアクセシブルな方式の資料をAE(Authorized Entity)を通して国際的に交換(輸出入)することが可能に
 - AEの窓口を、当面は、国立国会図書館と全国視覚障害者情報施設協会が担当
- ・改正「著作権法」(2019年1月施行)
 - 第37条第3項により、公共図書館、学校図書館、大学図書館、施行令に定める法人などでは、視覚障害者等のために、原資料の著作権者に無許諾で音声化等のアクセシブルな方式への複製と公衆送信を行える(今回の改正では自動公衆送信から公衆送信に変更)
 - 「図書館の障害者サービスにおける著作権法第37条第3項に基づく著作物の複製等に関するガイドライン」(2010年2月作成)も2019年11月に一部改定
- ・「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(いわゆる読書バリアフリー法)(2019年6月公布・施行)
 - 目的：「視覚障害者等の読書環境の整備を総合的かつ計画的に推進し、障害の有無にかかわらず全ての国民が等しく読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受することができる社会の実現に寄与すること」
 - 大学図書館も対象として明示
 - 法のポイント
 - ・対象者は視覚障害者等(視覚による表現の認識が困難な者)。視覚障害者だけに限定されていない
 - ・買うから借りるまで。すべての図書館、出版界を想定した施策
 - ・国と地方公共団体に計画策定を求める。国には義務
 - ・アクセシブルな電子書籍への注目
 - ・「連携」の重視
- ・国の「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画」(読書バリアフリー基本計画)(2020年7月策定・公表)
 - 「全国の大学及び高等専門学校の附属図書館が保有するアクセシブルな書籍等の所在情報を共有するためのリポジトリを国立情報学研究所において整備し、視覚障害者等による円滑な利用を促進する。また、同リポジトリと国立国会図書館のデータベースとの連携について検討を進める。更に、同リポジトリやデータベース等で公開される学術論文等について、視覚障害者等のアクセシビリティの向上に努める。」

4. 大学図書館における障害者サービスを進める

・高まるニーズと進む法整備を「障害者サービス」に取り組むチャンスとして生かすことが大切

・主な環境整備の例

- 研修を通しての職員の意識と理解の深化と共有
- 既存の施設・設備・サイン等の改善（バリアフリー化）の推進
- 新たな施設・設備の整備

ex) UAR (Universal Access Room) の設置（立命館大学）

→さまざまな読書補助具や情報支援機器の導入

- ・リーディングトラッカー
- ・リーディングルーペ
- ・拡大鏡
- ・筆談ボード
- ・拡大読書機
- ・音声読書機
- ・スクリーンリーダー入りコンピュータ端末 など

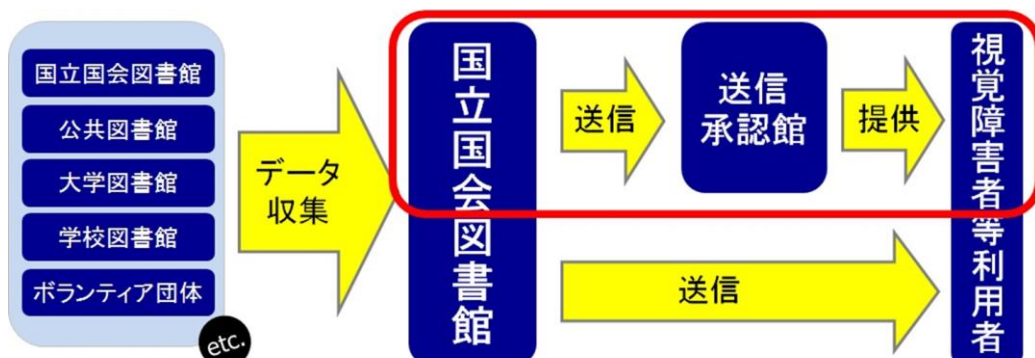
→アクセシブルな資料・情報資源の収集、提供

- ・アクセシブルな電子書籍
- ・電子データ（出版社提供） など

・主なサービス・合理的配慮の例

→媒体変換（複製）サービス

- ・主流は電子データ化であるが、点字データ化、音声データ化なども
- ・「著作権法」第37条により無許諾による複製と公衆送信が可能
- ・データの館内所蔵、データの該当学生への譲渡、他館との共有も可能
- ・共有の仕組みとして「視覚障害者等用データの収集及び送信サービス」（国立国会図書館）



（出典：国立国会図書館ウェブサイト）

- リーディングサービス（対面朗読）
- 職員による個別のさまざまな支援
- ・広報・PR も重要
 - 大学図書館がアクセシビリティを高めるために、どんな環境を用意し、サービスを提供しているかを知らない学生、教職員のほうが多い
- ・参考資料として
 - 日本図書館協会によるガイドライン等
 - ・「図書館における障害を理由とする差別の解消の推進に関するガイドライン」(2016年3月)
 - ・「JLA 障害者差別解消法ガイドラインを活用した図書館サービスのチェックリスト」(2016年11月)
 - 大学図書館の取り組み事例の報告
 - ・『大学図書館研究』108巻(2018年)「小特集：図書館の障害者サービス」など
 - 公立図書館など他館種の取り組み事例の報告

5. おわりに

- ・障害学生支援の一翼を担う大学図書館へ
- ・まずは、できることから1つずつ
 - 「図書館利用に障害のある人」の利用しやすい図書館は、誰にとっても利用しやすい図書館

【参考文献】

- ・日本図書館協会障害者サービス委員会編『図書館利用に障害のある人々へのサービス [上巻]：利用者・資料・サービス編 補訂版 (JLA 図書館実践シリーズ 37)』日本図書館協会，2021年，304p.
- ・日本図書館協会障害者サービス委員会編『図書館利用に障害のある人々へのサービス [下巻]：先進事例・制度・法規編 補訂版 (JLA 図書館実践シリーズ 38)』日本図書館協会，2021年，320p.
- ・野口武悟，植村八潮編著『改訂 図書館のアクセシビリティ：「合理的配慮」の提供へ向けて』樹村房，2021年，223p.

令和3年度国立大学図書館協会東海北陸
地区協会助成事業 研修会

大学図書館の留学生サービス

長崎純心大学早坂記念図書館長
浜口美由紀

今日の内容について

- ・ 1 日本の多文化サービスの歩み
- ・ 2 2015年「多文化サービス実態調査」実施と課題
- ・ 3 留学生サービスを考える
- ・ 4 留学生サービスのためのツール

1 日本の多文化サービスの歩み

1986年 IFLA国際図書館連盟・東京大会

「多文化社会図書館サービス分科会および全体会議決議」が採択され、日本に次のことが指摘された

韓国・朝鮮系と中国系とを中心とする在日の文化的マイノリティ（少数派）が相当数いるにもかかわらず、彼らの為の適切な図書館資料や図書館サービスが特に公共図書館において欠けている

多文化サービスの必要性を日本の図書館界が認識するきっかけになった

公共図書館の多文化サービスの始動

1988年 大阪市立生野図書館「韓国・朝鮮図書コーナー」開設



生野からのお知らせ

[ニュース/イベント](#) >> [記事詳細](#)

■ 2022/02/01 ■ 【生野】韓国・朝鮮語の新しい本が入りました

韓国・朝鮮語の新しい本が入りました

生野図書館ではハングル図書・雑誌・新聞などを集めた韓国・朝鮮図書コーナーを設置しています。今回、小説や実用書、絵本など21冊の韓国・朝鮮語の図書が新しく入りました。「新刊図書コーナー」にあります。

「多文化サービス実態調査」の実施

第1回 1988年 日本図書館協会「日本の図書館」の付帯調査として実施

対象：公共図書館

目的：1988年当時の公共図書館の民族的言語的少数派住民に対する
図書館サービスの実態調査

第2回 1998年 日本図書館協会「日本の図書館」の付帯調査として実施

対象：公共図書館

大学図書館の留学生等サービス

第1回、第2回調査の結果より

- 外国語資料所蔵数は大幅に増加
しかし、1988年以前の取り組みが非常に貧弱であったことの反映
- 10年間（1988年～1998年）の間、在住外国人の増加
外国人利用者のための資料請求の増加
- 増加している外国語資料 → 英語であり、児童書であった

2 2015年「多文化サービス実態調査」実施と課題

- ・ 2002年 日本図書館協会 多文化サービス研究委員会 発足
- ・ 2008年 日本図書館協会の常設委員会としての
多文化サービス委員会 発足
- ・ 2015年 第3回目となる「多文化サービス実態調査」実施 17年ぶり
- ・ 2017年 3月 『多文化サービス実態調査 2015報告書』を刊行

多文化サービス実態調査の目的

過去2回の調査以降の多文化サービスの進展を知る

多文化サービスの新しい動きがみられるか

多文化サービスで図書館が直面する課題はなにか

『多文化サービス実態調査2015報告書』 販売中



- 著者・編者：日本図書館協会
多文化サービス委員会編
- ・発行：日本図書館協会
 - ・発行年：2017.03
 - ・判型：A4判
 - ・頁数：228p
 - ・ISBN：978-4-8204-1620-3
 - ・本体価格：2,500円

在住外国人へのサービスを実践する時に各図書館が抱える課題を選択肢
(複数選択可) から選択の回答結果 (公共図書館編)

①地域の外国人ニーズが不明	847館
②職員の外国語対応能力が不足	800館
③外国語図書の選書発注が困難	541館
④資料費がない・少ない	520館
⑤図書館のPR不足	513館
⑥外国語図書の整理が困難	366館
⑦電算入力できない文字がある	357館
⑧資料購入ルートの確保が困難	305館
⑨外国人は図書館に来ない	158館
⑩日本語の資料で満足しているようだ	84館
⑪地域に外国人が住んでいない	19館

留学生等への図書館サービスに関する調査 (大学図書館編)

- ・調査対象 大学・短期大学・高等専門学校 of 中央図書館
- ・回収結果
合計 956 館 (大学 794、短期大学 106、高等専門学校 48、
その他 8)
- ・調査結果全般
17年前の調査と比較すると進展した部分と、
それほど進展していないと思われる部分がある。

調査結果の抜粋 1

- ・留学生等へのサービスの根拠となる業務指針について
「ある」

1998年 87 館

2015年 53 館 前回比 61%

- ・留学生等へのサービスについて学内他部局と定期的に協議・
協力 「ある」

1998年 7 館

2015年 73 館 前回比 1043%

協議先は大学の留学生を支援する部門が多い

調査結果の抜粋 2

- ・ 日本語以外の言語による情報提供 利用案内・ウェブサイト・館内展示
共に平均2～3割の館で実施
国立大学に限ればほぼ7割の館で実施
3つのいずれも作成していない館は半数以上であった。
- ・ 留学生対象の図書館オリエンテーションや利用指導等を行っている大学
3分の1ほど（実地言語は日本語と英語）
- ・ 留学生の要望調査を実施しているのは6%

全体の回答の結果

- ・ 1988年の第1回調査とほぼ同様であった。
- ・ 課題が約30年間解決されていない。

3 留学生サービスを考える

自国の大学図書館と日本との違い

- 先進国から来た人
- 大学図書館利用環境が異なる（休館日、開館時間、貸出など）
- 各国の大学図書館や司書の印象
- 図書館利用は無料ではない国も多い
- ペナルティーがある

研修会 事前アンケート結果 回答館：24館

ご協力頂きありがとうございました。

アンケート結果をご紹介します。

Q1. 留学生への特別支援(サービス)を実施していますか？

- ・はい 5館
- ・いいえ 19館

Q1-1. 具体的にどのようなことをしていますか？

- ・回答 5館
- ・日本語コーナーの設置。語学センターを併設しており、日本語学習用テキスト等の貸出を行っている。
- ・留学生用図書コーナーの設置
- ・留学生オリエンテーション
- ・ボランティアによる多言語での案内（英、中、露、インドネシア）折り紙講習会
- ・附属図書館で雇用しているライブラリー・ラーニング・アドバイザーが、留学生からの日常の学習等に関する相談に対応している。

Q1-2. 担当者は何名ですか？

- ・回答 4館
- ・ 1～数名 1館
- ・ 3名 2館
- ・ 7名 1館

Q1-3. 関連する予算はいくらですか？

- ・回答 3館
- ・ 10万円
- ・ 100万円
- ・ 流動的

Q2. 留学生の要望を調査していますか？

- ・回答 2館

Q2-1. どのような要望調査を行っていますか？

- ・数年前に、図書選定学生委員（リクエスト図書の選定を行う学生ボランティア）を留学生を中心に積極的に呼びかけを行った。その中で、図書のリクエストや附属図書館への要望に関して、主に留学生の視点から聞き取り調査を行った。
- ・留学生が1人しかいないため、来館時にその都度声かけをしてご要望を伺っている。

Q3. 貴大学に籍を置いているが入国できず、オンライン授業を受けている留学生に対し、サービスを提供している事例がありましたら教えてください。

- 回答 9 館
- IDを付与し、学外からでも電子リソースにアクセスできるようにしている。 3 館
- 教員からの依頼により、オンラインで講習会を実施（内容は学部の専門分野の学術情報の探し方、学術情報の使い方(引用ルール等)、国外からのDBアクセスの方法など。通常対面で実施しているものだが、2021年度は国内にいる学生に対してもオンラインで実施した。
- 当館のYoutubeチャンネル内にて図書館バーチャルツアーができる。

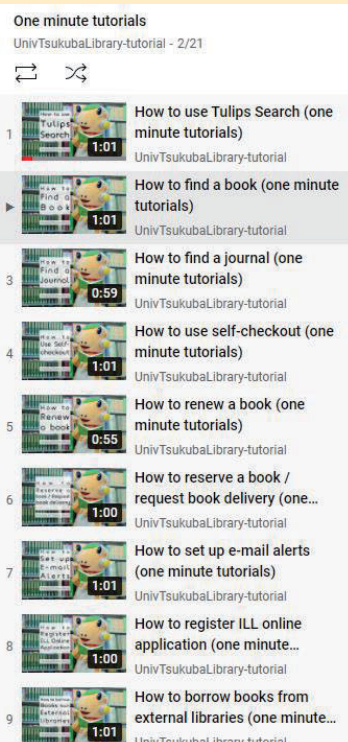
Q4. コロナ禍の中で、留学生に対して特別に行っていることがありましたら教えてください

- 回答 4 館
- コロナ禍に特化したものではないが、次年度からニーズに応じて、学生向けのレポートの書き方講習会等を英語で行う予定。
- 留学生向け日本語教育を担当している教員からの依頼で、日本語学習に関するオンラインで利用する電子書籍（キャンパス内から利用可）を数点購入した。
- 特になし（Q3の電子リソースの学外からのアクセスも、国内にいる学生も使っている）

筑波大学からの回答

Q3でも「来館せずに利用できるWebサービスの充実」の紹介があった

- コロナ禍以降、留学生向のwebコンテンツを充実させた。
<https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/lib/ja/service/international>
- やさしい日本語でのwebページ
- 図書館の使い方のチュートリアル1分動画(21本)
- 留学生、外国人研究者向けの図書館ガイドブック
- 新入留学生対象の図書館オリエンテーション動画の提供
(<https://www.youtube.com/watch?v=YWz81MhYQbc>)



💡 にほん としょかん
日本の 図書館の しくみ

にほん としょかん みほん ざっしほんだな じゆう て み
日本の 図書館では、見たい本や雑誌を 本棚から 自由に手にとって 見ることが できます。

としょかん はたら ひと ひつよう さが てつだ
図書館で 働く 人は、あなたが 必要なものを 探すために、手伝うことが できます。

せいきゆうきごう ほかに ばしょ じょうほう つか ほうほう べんきよう
請求記号や 他の 場所の 情報を 使う方法を 勉強してください。

おな てーま ほん ふつう いっしょ ほんだな
同じテーマの本は 普通は 一緒の本棚に あります。

ざっしろんぶん てーま あ ことば さくいん さが ろんぶん いんよう きじ さが ほうほう
雑誌論文は、テーマに合った 言葉で、索引を 探して、論文の引用や 記事を探し 方法を
べんきよう いま にほん としょかん でんしてき しりよう けんきゆう たいせつ ぶぶん
勉強してください。今の 日本の 図書館では、電子的な 資料は 研究の とても大切な部分で
す。たくさんの さくいん ようし ざっしきじ でんしてき だいがく そと でんしてき
ほん ろんぶん て い
本や 論文を 手に入れることが できます。

としょかん つか ほうほう わ れふあれんす しら そうだん まどぐち
図書館を使う 方法について 分からないことが あったら、レファレンス（調べもの相談）窓口で
き としょかん はたら じょうほう ほん ほかに しりよう さが ほうほう おし
聞いてください。図書館で 働く 人は、情報や 本、他の 資料を 探す方法を 教えます。もし、
としょかん はたら ひと しつもん しつもん かみ か
図書館で 働く 人に あなたの 質問を うまく 伝えることが できなかつたら、質問を 紙に書
き、見せてください。

Q5. 留学生向けの資料の購入先について、英語・中国語・韓国語・フランス語・ロシア語以外の言語の資料を購入する際に利用している書店・代理店・サイトなどがありましたら教えてください

- ・回答 5館
- ・地元の書店や生協書籍部など
- ・穂高書店
- ・日ソ（クロアチア、東欧の出版物）
発注しても1年以上納品できないこともある
- ・ナガラ図書

東京大学からの詳細な回答

・古い情報があるかもしれませんが、ご参考まで。

ドイツ：郁文堂 <http://www.ikubundo.com/>

ドイツ：エルベ書店 webサイトなし elbebook@nyc.odn.ne.jp

イタリア：イタリア書房 <http://italiashobo.com/>

イタリア：南欧図書 webサイトなし nan-oh@jade.dti.ne.jp

イタリア：文流 <https://www.bunryu.co.jp/>

チベット：カワチェン <https://www.kawachen.org/>

中東・南アジア：ナガラ図書 <http://www.nagara-books.co.jp/catalog/index.php>


ベトナム：レロイ書店 <http://www.nsleloi.co.jp/>

インド・東南アジア：穂高書店 <https://www.hotakabooks.com/>

ベトナム語を含む全般的に：藤井洋書 <https://www.fujiibooks.com/about/>

CiNii Article


「留学生」「図書館」で検索した結果

 **留学生**が語りかけるSDGs 東北大学附属図書館本館：国連寄託図書館としての事例 (特集 SDGs)

堀野 陽子

専門図書館 = Bulletin of the Japan Special Libraries Association (306), 2-7, 2021-09

[Link1](#)

 **日本図書館研究会2020年度決算報告・2021年度事業計画・予算案/2021年度事業計画等の提案にあたって/事業計画・予算案の提案説明/『図手・中堅の書き手へ図書館研究奨励賞を/ブロックセミナー開催のお誘い/留学生への『図書館界』無料頒布について/『図書館界』オープンアクセス/2020年度第2特別会計決算/2020年度第3特別会計決算/2020年度監査報告/2021年度事業計画(案)/2021年度一般会計予算(案)/2021年度第3特別会計予算(案)/2021-2022年度役員選挙結果報告/選出理事会報告/通信評議員会報告/評議員の繰り上げ当選について/2021年度第3特別会計予算(案)**

図書館界 73(1), 28-43, 2021

[J-STAGE](#)

[Link1](#)

 **図書館の生態系(3)日本の(公共)図書館がもつDNA：韓国からの留学生の答案を手掛かりとして**

山本 順一

みんなの図書館 (517), 54-62, 2020-05

[Link1](#)

 **留学生**コンシェルジュによる「グローバルセッション」の歩み — 東北大学附属図書館の国際交流活動 —

西村 美雪

東北大学附属図書館調査研究室年報 = The Annual Reports of the Tohoku University Library (7), 113-126, 2020-03-27

[機関リポジトリ](#)

[Link1](#)

留学生コンシェルジュによる「グローバルセッション」の歩み — 東北大学附属図書館の国際交流活動 —

西村 美雪

東北大学附属図書館調査研究室年報 = The Annual Reports of the Tohoku University Library (7), 113-126, 2020-03-27

[機関リポジトリ](#)

[Link1](#)

留学生コンシェルジュサービス向上への挑戦 —国内外大学図書館におけるグローバルラーニングサポートの比較を通して—

西村 美雪, 上野 美香, 佐々木 亜紀子, 吉植 庄栄

東北大学附属図書館調査研究室年報 = The Annual Reports of the Tohoku University Library (5), 79-88, 2018-03-22

[機関リポジトリ](#)

[Link1](#)

4 留学生サービスのためのツール

多文化サービスQ&A公開 2021年4月21日

日本図書館協会 Japan Library Association

日本図書館協会の見解・意見・要望

会員向けサービス 図書館雑誌掲載 ログイン

ホーム JLAについて 図書館について 部会 **委員会** JLA会員 JLA出版物 事務局・事業

多文化サービス委員会

公共や大学の図書館の関係者、外国人に関わる仕事の従事者、大学教員等の有志が集う当委員会では、民族的、言語的、文化的少数者（マイノリティ）すなわち文化や言語の面から“図書館利用に障害のある人たち”に対して知る自由、読む権利、学ぶ権利を資料・情報の提供によって保障していくための図書館活動である多文化社会図書館サービス(多文化サービス)を進めていくため、調査、出版等様々な活動を行っています。

目次

- これまでの活動
- 国際図書館連盟多文化社会図書館サービス分科会について
- リンク集 (別ページ)
- **多文化サービスQ&A (別ページ) 印刷用PDF**

多文化サービス委員会

- 多文化サービス委員会
- リンク集
- 多文化サービスQ&A

この度の記録的大雨等で被災された皆様、新型コロナウイルス感染症により影響を受けている方々に心よりお見舞い申し上げます。早期に健やかな日常が戻りますよう祈念申し上げます。

[新型コロナウイルス関連情報のページ](#)

クリックします

<Q&A>

- ▶ Q1. 「多文化サービス」ってなんですか。
- ▶ Q2. 日本人へのサービスが先ではないですか。
- ▶ Q3. 「多文化サービス」を始めるとき、どこから手を付けたらよいかわかりません。
- ▶ Q4. 「多文化サービス」を始めるとき、どのような事業計画を立てればよいですか。
- ▶ Q5. 外国人のニーズがわかりません。
- ▶ Q6. 外国人に図書館を利用してもらうにはどうすれば良いですか。
- ▶ Q7. 外国語の資料をどのように整理したらよいかわかりません。
- ▶ Q8. 外国語資料をどのように並べるのがよいですか。

▼ Q12. 外国語を話せる職員がいなので、カウンター対応が不安です。

まずはにっこりと笑って「こんにちは」と迎えましょう。そして、「なにか読みますか」と言った後で、「やさしい日本語」でゆっくり話します。相手に失礼だと思って丁寧なことば（敬語、尊敬語、謙讓語）を使ってしまうかもしれませんが、丁寧なことば外国人には難易度の高い日本語です。できるだけ丁寧なことばを使わずに、シンプルな「ですます体」で話してください。その時に、相手に伝わりやすようにジェスチャーを入れるともっと伝わるでしょう。

やさしい日本語を使った外国人利用者との会話を資料編で紹介します。図書館のカウンターでよく使われている日本語のフレーズです。ここでは、図書館職員がカウンターで外国人利用者と対面した場面を想定しています。モノを介してのやさしい日本語会話です。

図書館の利用登録や資料の予約など説明が必要な場面は、説明文を多言語に翻訳した用紙を提示することや指差しで説明できるイラストなどを準備するといと思います。

スマートフォン・タブレット端末・携帯翻訳機などを利用した無料・有料の多言語音声翻訳サービスも始まっています。言葉の壁が技術の進歩で取り除かれていくのに合わせて、心の壁もなくなっていくことでしょう。

多文化サービスQ&A の構成 1

12項目のQ&A

- ・ Q1. 「多文化サービス」ってなんですか。
- ・ Q2. 日本人へのサービスが先ではないですか。
- ・ Q3. 「多文化サービス」を始めるとき、どこから手を付けたらよいかわかりません。
- ・ Q4. 「多文化サービス」を始めるとき、どのような事業計画を立てればよいですか。
- ・ Q5. 外国人のニーズがわかりません。
- ・ Q6. 外国人に図書館を利用してもらうにはどうすれば良いですか。
- ・ Q7. 外国語の資料をどのように整理したらよいかわかりません。
- ・ Q8. 外国語資料をどのように並べるのがよいですか。
- ・ Q9. 外国語資料コーナーにどのような名称を付けたらよいですか。
- ・ Q10. 「多文化サービス」を始めるとき、職員にどのような研修をすれば良いですか。
- ・ Q11. 児童・ヤングアダルト（中高生）にはどのようにサービスすれば良いですか。
- ・ Q12. 外国語を話せる職員がいなので、カウンター対応が不安です。

多文化サービスQ&A の構成 2


【もっと知るために】

- ・ 訪日外国人へのサービスも「多文化サービス」ですか。
- ・ 「翻字」とは
- ・ 国名／国旗と言語について
- ・ 「やさしい日本語」とは

Q&Aの回答に加えて、多文化サービスを理解してもらえるように、コラムを記載しています

多文化サービスQ&A の構成 3

<資料編>

- ・ 図書館での「やさしい日本語」会話：敬語を使わずに話しましょう
- ・ 外国語資料の購入先 
- ・ 言語別別置記号の例：埼玉県立熊谷図書館図書装備仕様別表

<付録>

- ・ IFLA/UNESCO多文化図書館宣言
- ・ 多文化サービスの意義

資料編
図書館現場で役に立つ情報を提示しています

	中国	香港	台湾	韓国	北朝鮮	ベトナム	南アジア	中東	ロシア	ドイツ	フランス	イタリア	ポルトガル	中南米
葦葉書店	●	●	●	●										
内山書店	●	●	●											
神奈川共同出版販売	●	●	●	●		●					●			●
北九州中国書店	●													
高麗書林				●										
三中堂				●										
上海學術書店	●	●	●											
書虫	●													
中国書店	●	●	●	●										
東方書店	●													
ナガフ図書							●	●						
開聲堂中文書店	●													
穂高書店	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
山本書店	●													
燎原書店	●	●	●											
琳瑯閣書店	●													
レインボー通商				●	●									
レロイ書店						●								
柳文堂										●				
イタリア書房											●	●	●	●
欽明社											●			
スペイン書房											●	●	●	●
セルバンテス書店											●			
ナウカ・ジャパン									●					
日ソ									●					
フランス図書											●			
文流												●		
ミラン洋書店												●		

印刷用PDF もご活用下さい

多文化サービス Q&A

日本図書館協会多文化サービス委員会編
2021年3月20日作成

公共図書館の多文化サービスに関してよく尋ねられる質問とその答えを紹介します。

Q&A

- Q1. 「多文化サービス」ってなんですか。 2
- Q2. 日本人へのサービスが先ではないですか。 3
- Q3. 「多文化サービス」を始めるとき、どこから手を付けたらよいかわかりません。 3
- Q4. 「多文化サービス」を始めるとき、どのような事業計画を立てればよいですか。 4
- Q5. 外国人のニーズがわかりません。 4
- Q6. 外国人に図書館を利用してもらうには、どうすれば良いですか。 5
- Q7. 外国語の資料をどのように整理したらよいかわかりません。 5
- Q8. 外国語資料をどのように並べるのがよいですか。 6
- Q9. 外国語資料コーナーにどのような名称を付けたらよいですか。 7
- Q10. 「多文化サービス」を始めるとき、職員にどのような研修をすれば良いですか。 8
- Q11. 児童・ヤングアダルトにはどのようにサービスすれば良いですか。 8
- Q12. 外国語を話せる職員がいなくて、カウンター対応が不安です。 9

🔗 もっと知るために

- ・ 訪日外国人へのサービスも「多文化サービス」ですか。 9
- ・ 「翻字」とは。 9
- ・ 国名/国旗と言語について。 10
- ・ 「やさしい日本語」とは。 10

もうひとつの便利なツール

[日本図書館協会](#) > [委員会](#) > [多文化サービス委員会](#) > [リンク集](#)

リンク集

I 目次

- [A. 関連団体](#)
- [B. 多言語図書館用語集](#)
- [C. 多言語図書館会話集](#)
- [D. 絵本・教材・支援](#)
- [E. 多言語生活情報](#)
- [F. 日本語学習](#)
- [G. ガイドライン・マニュアル](#)
- [H. 統計](#)
- [I. 新型コロナウイルス対応サイト](#)



指さしコミュニケーションシート























図書館に来館する外国人とのコミュニケーションを円滑にするために、指さしコミュニケーションシートを作成しました。シートはダウンロードしてご自由にご利用ください。また自館用に修正して利用したい場合は、メールにてPowerPoint版を送付いたしますので、熊谷図書館海外資料担当までお問い合わせください。

*ポルトガル語版及びスペイン語版の内容を一部訂正しましたので、2021年2月18日以前にダウンロードされた方は再度のダウンロードをお願いします。

- [中国語.pdf \(PDF:639.0 KB\)](#)(2021年10月更新)
- [韓国語.pdf \(PDF:714.9 KB\)](#)(2021年10月更新)
- [英語.pdf \(PDF:873.8 KB\)](#)(2021年10月更新)
- [ポルトガル語.pdf \(PDF:570.3 KB\)](#)(2021年10月更新)
- [スペイン語.pdf \(PDF:432.3 KB\)](#)(2021年10月更新)
- [やさしい日本語.pdf \(PDF:527.5 KB\)](#)(2021年10月更新)

用手指的交流一覧表 请您用手指需要的单词

指さしコミュニケーションシート 必要な単語を指さしてください

 <p>借閱 借りる</p>	 <p>归还 返す</p>	 <p>予約 予約する</p>	 <p>寻找 探す</p>	 <p>申请图书卡 貸出カードを作る</p>		
 <p>休館日 休みの日</p>	 <p>开放时间 開いてる時間</p>	 <p>归还日 返す日</p>	<p>可借数量 借りられる資料数</p>	<p>延长(一次为限) 延長する(1回のみ)</p>		
 <p>书籍 本</p>	 <p>杂志 雑誌</p>	 <p>报纸 新聞</p>	 <p>CD</p>	 <p>DVD</p>	 <p>搜索系统 検索機</p>	 <p>复印机 コピー機</p>
 <p>互联网 インターネット</p>	 <p>数据库 データベース</p>	 <p>地图 地図</p>	 <p>饮食 飲食</p>	 <p>无线网络</p>	 <p>洗手间 トイレ</p>	 <p>自动贩卖机 自動販売機</p>

利用者用

事前に頂いたご質問

- 1 積極的に要望を出してくれる留学生の利用者ばかりではないと思います。潜在的な要望をどのように把握したらいいですか？
- 2 海外の先進的、またはユニークな取組みについても伺えたらと思います。
- 3 留学生サービスについて、英語が得意でなくても留学生とコミュニケーションをとる方法や心構えなどについて知りたいです。

音声通訳・翻訳機等について
誰でも無料で使えるアプリは
「VoiceTra」（ボイストラ）



多言語音声翻訳アプリ
<ボイストラ>
無料アプリ

VoiceTra
話した内容を外国語に翻訳
31言語に対応!

旅行会話に最適!

他のサイズはありますか。
ショッピングで
次の列車は何時ですか。
駅で
穴子ください。
寿司屋で

駅までの行き方を教えてください。
こう翻訳しました
Please tell me how to get to the station.
翻訳の意味はこれです
駅までの道を教えてください。
English
日本語

チェックインは何時ですか。
ホテルで
少し熱があります。
病院で

ボイストラ
VoiceTra は、国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT) の
“音声認識・翻訳・音声合成” 技術を活用した 多言語音声翻訳アプリです。

①音声通訳・翻訳機

- ・ポケトーク <<https://pocketalk.jp/device/>>
- ・allowa hello <<https://www.fmworld.net/product/phone/arrows/hello/>>
- ・eTalk <<https://remospace.com/kazuna/etalk5/>>
- ・ili <<https://online.nojima.co.jp/contents/ili/>>
- ・Talkjoy <<http://www.tsnetwork.jp/appliance/product/tees-%E9%9F%B3%E5%A3%B0%E7%BF%BB%E8%A8%B3%E6%A9%9F%E3%80%80talkjoy/>>
- ・Langie <<https://langie.net/>>
- ・ワールドスピーク <<https://www.kingjim.co.jp/sp/worldspeak/>>

②タブレット端末（アプリ）

- ・VoiceTra <<https://voicetra.nict.go.jp/>>
- ・VoiceBiz <<https://www.toppan.co.jp/solution/service/VoiceBiz/>>
- ・KOTOBAL <<https://www.konicaminolta.jp/kotobal/index.php>>
- ・UDトーク <<https://udtalk.jp/>>

③タブレット端末（遠隔テレビ通訳）

- ・どこでも★通訳 <<https://dokodemo.mobi/>>
- ・みえる通訳 <<https://www.mieru-tsuyaku.jp/>>
- ・テレビde通訳 <<https://tsuyaku.tv/>>

ご視聴ありがとうございました

長崎純心大学
浜口 美由紀